

# R7荒尾駅前 広場利活用社会実験結果について

令和7年 10月25日（土）  
11月3日（月・祝）

# 社会実験の概要

## これまで得た 市民意見

- ・市民向けワークショップ
- ・駅前マルシェ
- ・えきまち研究会



## 駅西口で望まれる活動

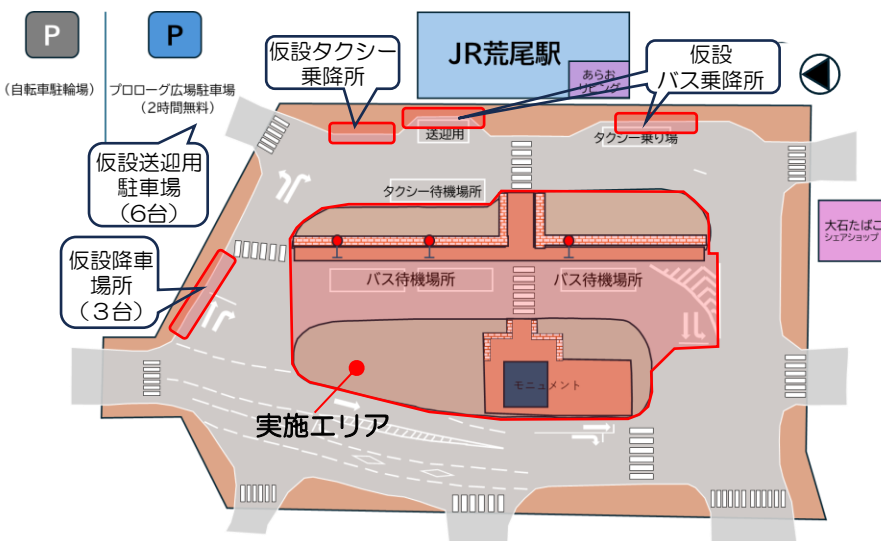
- ・定期的に開催されるイベントに参加する **A B**
- ・広場で安全に過ごせる **C**
- ・送り迎え等で安全に送迎が出来る **C**

## 社会実験の目的

**A 夜間イベントで駅前の可能性**を探る！

集客力・回遊性・公共交通利用・広場の安全性を調査し、**B 体制構築**と**C 駅前広場再整備**の参考にする

## 〇エリア



## 〇今回の結果

### A 活動の創出

来場者数  
**約800人**  
前回よりもUP！

JR利用者  
**20%※UP**

※JR九州調べ  
※14:00～20:00で前週の土曜日と比較



### B 活動の仕組みづくり

※ 前回開催時よりも  
**マルシェや駅前での  
出店希望が増加！**

※R6荒尾駅前社会実験（R6.11.23）結果と比較

### C 施設整備

仮設送迎用駐車場は  
**6台**で対応可能  
仮設降車場所は  
**3台**で対応可能

簡易横断防止柵の設置で  
**車道への  
飛び出し抑制**

## 〇今後に向けて

- 仲間集め
- 雰囲気にあった設え検証

# 0. 目次

---

## 1. 10/25 のあそび×DK-Live . . . 4

1－1. 目的及び検証項目 . . . 5

1－2. 当日の様子 . . . 6

1－3. 結果・分析 . . . 7

## 3. 全体のまとめ . . . 20

## 2. 11/3 PEANUTS祭 . . . 15

2－1. 社会実験の概要 . . . 16

2－2. 目的及び検証事項 . . . 17

2－3. 結果・分析 . . . 18

## 4. 参考資料 . . . 21

The background image shows a town square with several white tents set up on a grassy area. In the foreground, there is a large white teepee-like tent and a smaller white tent. To the left, there is a small building with a sign that says "RUMASHIYO COFFEE". In the background, there are residential buildings and a railway line with overhead wires. The overall atmosphere is that of a community festival or event.

# のあそびマルシェ × DK—Live

令和7年10月25日（土）

# 1-1. 目的及び検証事項

目的

今回の社会実験では夜間イベントでの集客の可能性や近隣店舗・施設の利用に繋がる回遊性の調査、公共交通機関の利用者の増加、広場の安全な利用について調査を行い、今後の駅前広場再整備及び駅前

の体制構築

の参考とすることを目的とする。

確認したいこと	計測方法	具体的な手法	評価指標
テーマA: 活動の創出(夜間のイベントにおける賑わい検証)			
検証1: 夜間の集客の可能性	①投票調査 ②定点観測	①シール投票を実施 ②AIカメラの導入	①駅前に来たきっかけ、世代、どこから来たか(%) ②利用者数(人)
検証2: 公共交通機関の利用	①ヒアリング ②定点観測・目視確認 ③目視確認	①JR・バス・タクシー会社を利用者のヒアリング ②プロログ広場駐車場(AIカメラの導入)、NTT敷地内暫定駐車場(目視確認)の出入庫を確認 ③電車到着に合わせて送迎用駐車場の利用状況を確認	①通常休日と比較した公共交通利用者の増減(%) ②プロログ広場駐車場・NTT駐車場の出入り数(台) ③送迎用駐車場の稼働率(%)
検証3: プレイスメイキングの場の要素を含んだ各エリアにおいて滞在時間・活動の特徴を把握する	①定点観測 ②アクティビティ調査	①AIカメラの導入 ②1時間1回、各エリアでの活動の種類と年齢層を把握	①各エリアの滞在時間の割合(%) ②各エリアにおける活動の種類や年代別の割合(%)
検証4: 近隣店舗・施設の利用	①事業者ヒアリング	①駅前での活動(イベント)に対する反応、関与の可能性を周辺店舗へヒアリング	① 活動に対する是非(%), 関与の可能性の有無(%)
検証5: 駅周辺を回遊する動きがあったか	①定点観測	①AIカメラの導入 人の動線を観測し、駅周辺(停車場線方面)を回遊しているか把握	① 通過人数(人)
テーマB: 活動の仕組みづくり(PR効果、事務局業務の検証)			
検証6: どの広報媒体が一番効果的にPRできるか	①投票調査	①シール投票	① 広報手法ごとの投票割合(%)
検証7: スケジュールに基づき円滑に事務局業務を行えたか	①振り返り会	①やったことリストを整理して、課題(やり残したことや時間を要したこと等)を洗い出す ②当日運営についての課題を洗い出す(例: 交通規制の時間等)	① 課題の抽出
検証8: 誰でも使いやすい様式として取り纏めてできているか	①振り返り会	①様式で良かったところ、分かりにくかったところを意見交換	① 課題の抽出
検証9: 今後の出店・関与の可能性	①出店者アンケート	①出店者アンケートを実施	①関与の可能性の有無(%), 来場者数・売上の所感
検証10: 近隣住民の反応	①振り返り会	① 駅前での活動(イベント)に対する意見について当日配置の職員にヒアリング	①活動に対する意見(件)
テーマC: 施設整備(交通・歩行者の安全性、場づくりの検証)			
検証11: プロログ広場駐車場、送迎用駐車場は十分であったか	【検証2②③と同じ】		
検証12: プレイスメイキングの場の要素を含んだ各エリアにおいて滞在時間・活動の特徴を把握する	【検証3と同じ】		
検証13: ローター内バス・タクシー・送迎車・駐車場契約者が安全に通行できるか。	①ヒアリング	①誘導員へヒアリング、交通事業者や一般車からのクレームの確認	① 苦情の有無(件)
検証14: 広場で歩行者が安全に過ごせるか	①振り返り会 ②出店者アンケート	①&②歩道からの飛び出し、車道部分にはみ出して過ごす等の危ない場面があった	①危ない場面の有無
検証15: 人・自転車の安全な動線が確保されているか	①振り返り会	①人・自転車のショートカット、飛び出しの件数カウント	① 危ない場面の有無
検証16: 必要な電力・コンセントはどれほどか。	①必要な電力、コンセント数の確認	①出店者アンケート	①不足する設備



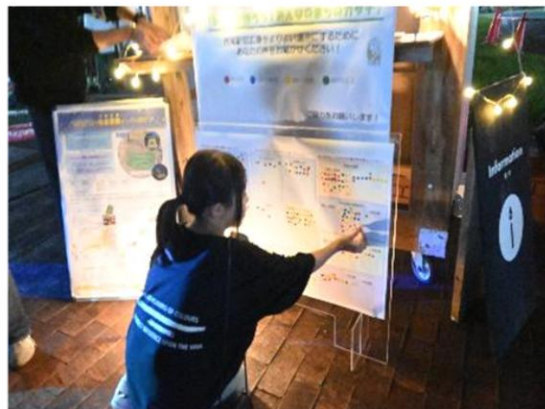
# 1-2. 当日の様子

○実施日時

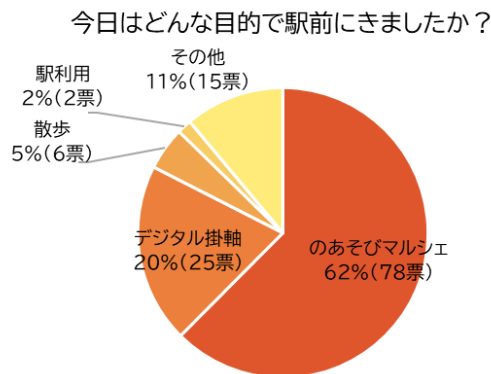
10/25（土） 晴れのち曇り 平均気温19.5℃

社会実験 14:00～21:00

のあそびマルシェ 16:00～20:00（DK-Live：18:00～）

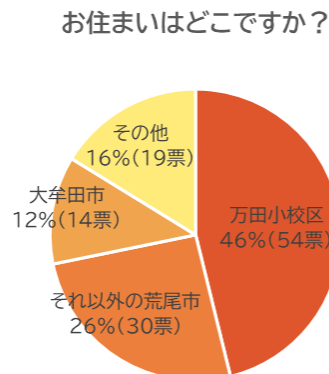


### 検証1：夜間の集客の可能性（駅前を訪れたきっかけ、どこから来たか、年代）



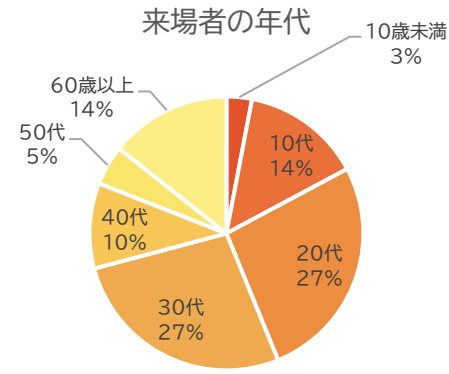
#### 【R6社会実験の結果】

- 1位 のあそびマルシェ（68%）
- 2位 あらおリビング（13%）
- 3位 散歩（8%）



#### 【R6社会実験の結果】

- 1位 万田小（31%）
- 2位 それ以外の荒尾市（27%）
- 3位 大牟田市（10%）



#### 【R6社会実験の結果】

- 1位 10代以下（33%）
- 2位 30代（24%）
- 3位 40代（15%）

## 評価

### 検証1

#### 夜間の集客効果は高い

- ・ 駅前でされるマルシェの開催が根付いたといえるのでは
- ・ 前回より約300名ほど来場者が増加した
- ・ 万田小校区の来場者が前回と比較して多く見られた
- ・ 夜間に行ったにもかかわらず、小学生くらいまでの子供が多く、安心・安全なイベントと認知されたのでは

検証2：公共交通機関の利用（前週と比較した公共交通利用者の増減、来場用駐車場や仮設送迎用駐車場の稼働率）



プロローグ広場駐車場利用者  
前週の駐車場利用よりも  
約10%利用率UP※1  
第2駐車場※2 利用ナシ

※1：前週（10/16～10/22）の利用数とイベント  
含む週（10/23～10/29）の利用数を比較  
※2：NTT西日本敷地内に設置

仮設送迎用駐車場（6台分確保）



【R6社会実験の結果】  
仮設送迎用駐車場 Max5台駐車  
仮設降車場所 Max3台駐車

## 評価

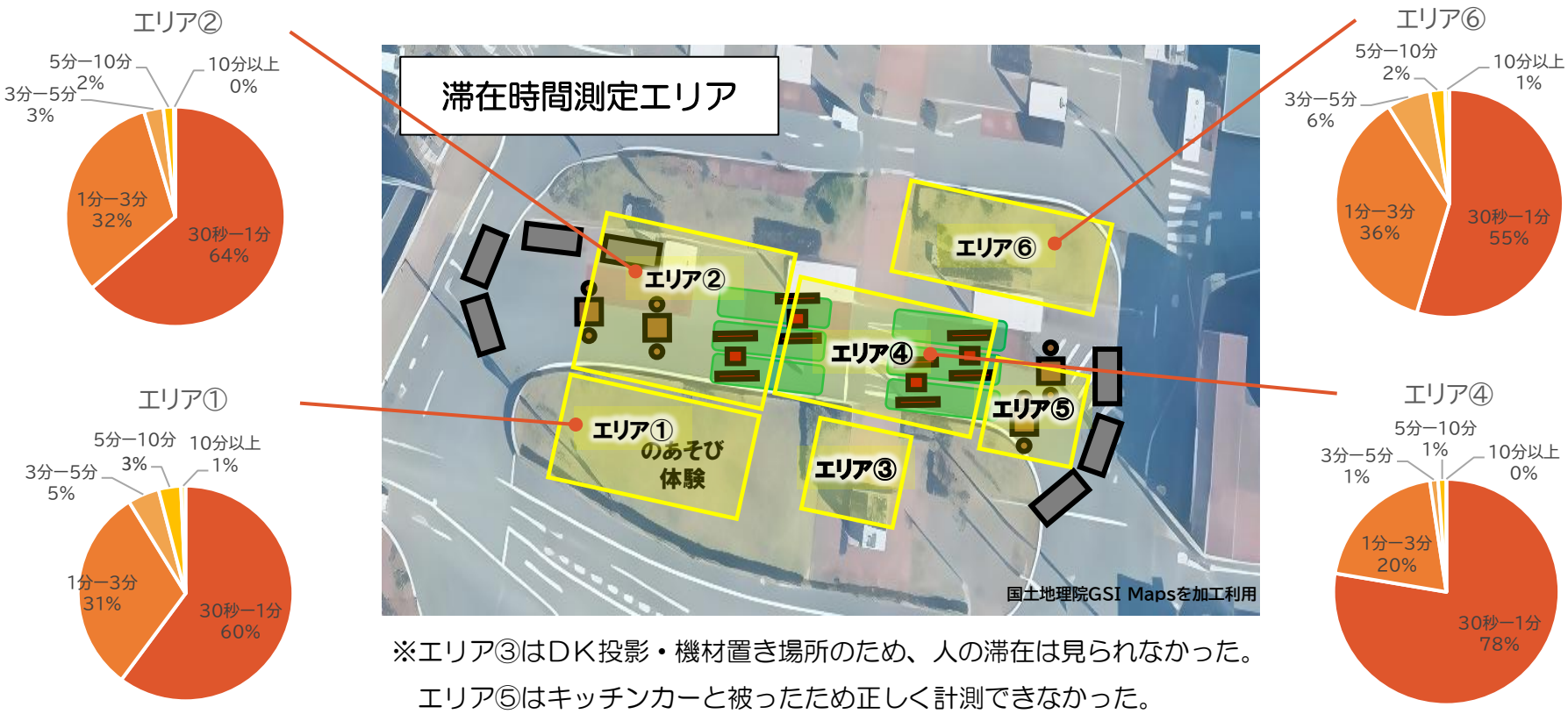
### 検証2

JRの利用者数はイベントがなかった前週と比較して増加している。

- ・現状のイベント規模であれば、第2駐車場は不要
- ・昨年度のイベントを鑑みても送迎用駐車場の利用は6台で十分
- ・お酒の提供があったため、車以外の交通手段（電車、徒歩）を利用したという来場者の声あり。
- ・前回開催時と比べて父親がイベントに参加する姿が多くみられた（振り返り会意見より）。



検証3：プレイスメイキングの場の要素を含んだ各エリアでの滞在時間・活動の特徴を把握  
(AIカメラによる測定)



評価

検証3

**各エリアでの滞在時間に顕著な違いは見られなかった**

- ・エリア①は体験型コンテンツ、エリア②はテーブル・イス、エリア⑥は店舗の待ち列が見られた。エリア④は広場の中心で多くの往来があったため、滞在時間の短い人の割合が他のエリアと比べて多くなったものと考えられる。
- ・今回のAIカメラ調査では詳細までは確認できなかったため、より精度の高い計測方法を検証する。

検証4：近隣店舗・施設の利用      ※事前ヒアリングにより調査（駅周辺事業者3者へ実施）

評価

検証4      イベント・社会実験の実施に対して好意的な意見がえられた。

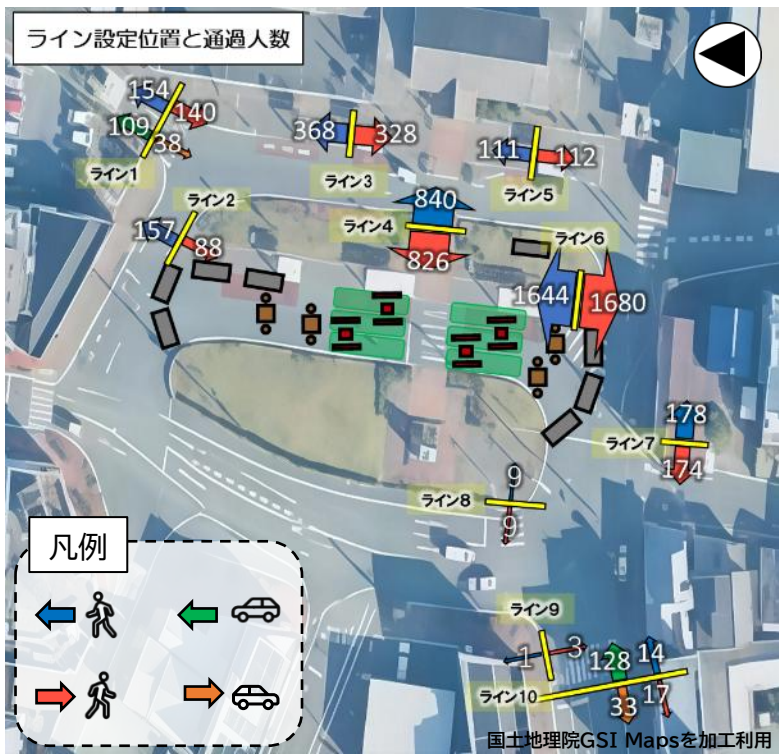
検証5：駅周辺を回遊する動きがあったか（AIカメラによる測定）

評価

検証5      駅前広場での回遊がメインだったため、  
周辺への回遊（特に駐車場線方向）は  
少なかった。  
・前週と比較するとのあそびロッジや大石たばこ店  
との回遊は見られた

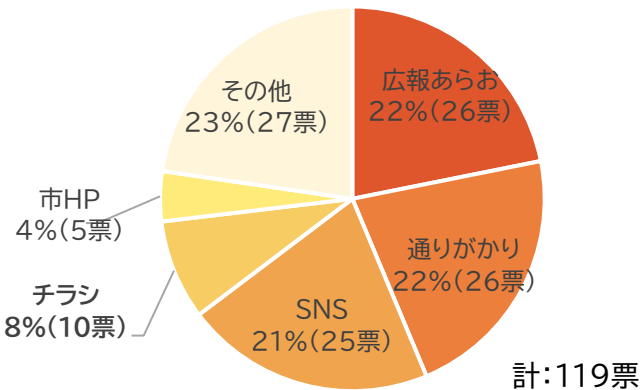
【参考】前週土曜日（10/18）の通過数（16:00～21:00）  
ライン1：青27人 赤15人 緑19台 橙45台  
ライン7：青20人 赤15人  
ライン10：青2人 赤1人 緑101台 橙26台  
※数字は、矢印方向の合計値を示す

【注意】AIカメラの人数の測定についてはカメラと測定場所の距離や夜間の測定による影響もあり、実数とは差があることに留意すること。



検証6：どの広報媒体が一番効果的にPRできるか

このイベントをどうやって知りましたか？

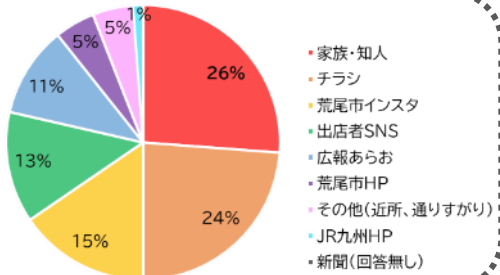


【参考】

- ・広報スタート時期：9/30（約3週間前）
- ・チラシ配布先：荒尾駅、シティモール、市内公共施設

【R6社会実験の結果】

- ・広報スタート時期：11/1（約3週間前）
- ・チラシ配布先：荒尾駅、シティモール、市内公共施設、市内保育園・幼稚園・小学校



評価

検証6

前回と比較すると広報あらか・SNSを見て来場する人が増加した。

- ・通りがかりの来場も多く、駅前広場でやる効果が表れているのでは。
- ・チラシの効果は配布先によって異なるのでは。

- 検証7：スケジュールに基づき円滑に事務局業務を行えたか
- 検証8：誰でも使いやすい様式として取り纏めできているか

評価

検証7  
検証8

前回から活用しているスケジュール表、協議先リストを活用することで、スムーズに準備を進めることができた。

#### 検証9：今後の出店・関与の可能性（マルシェ出店者の意向調査）

【R6社会実験の結果】10店舗出店（10店舗から回答）

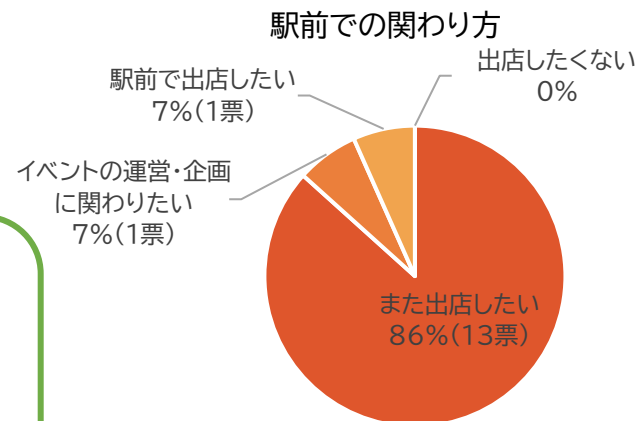
1位 また出店したい（90%） 2位 イベントを運営・企画したい（10%）

#### 評価

#### 検証9

また出店したい/駅前で出店したいという合計の割合が前回開催時よりも増加した。

- ・前回と比較して出店数が増加した。
- ・運営・企画に携わりたいという意見を昨年度同様得ることができた。



17店舗出店（うち15店舗から回答）

#### 検証10：近隣住民の反応（駅前での活動に対する意見）

特段クレーム等はなく、次回開催を求める声があった。

#### 評価

#### 検証10

駅前でのイベント、社会実験等の取組みが定着してきた。



# 検証11：プロローグ広場駐車場、送迎用駐車場は十分であったか（検証2の結果再掲）

## 評価

### 検証11

- ・現状のイベント規模であれば、第2駐車場は不要
- ・昨年度のイベントを鑑みても送迎用駐車場の利用は6台で十分

プロローグ広場駐車場利用者  
約200台駐車  
第2駐車場※利用ナシ  
※NTT西日本敷地内に設置

仮設送迎用駐車場（6台分確保）

**Max5台駐車**

仮設降車場所（3台分確保）

**Max3台駐車**

【R6社会実験の結果】

仮設送迎用駐車場 Max5台駐車  
仮設降車場所 Max3台駐車

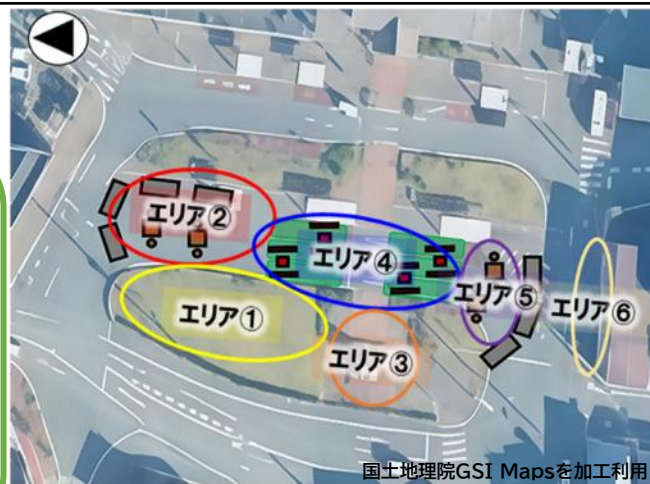
# 検証12：プレイスメイキングの場の要素を含んだ各エリアにおいて滞在時間・活動の特徴を把握する

## 評価

### 検証12

場の設えが異なる6エリアを設定し調査したところ、エリアごとに特色ある多様な活動が観測された。

※エリア③はDK投影・機材置き場のため、人の滞在は見られなかった。



検証13：ロータリー内でバス・タクシー・送迎車・駐車場契約者が安全に通行できるか。

検証14：広場で歩行者が安全に過ごせるか（危ない場面の有無）

検証15：人・自転車の安全な動線が確保されているか（11）

## 評価

検証13

検証14

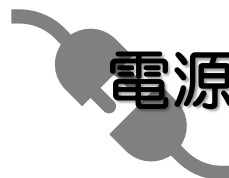
検証15

歩車分離ができており、車道への飛び出しを減らせた。

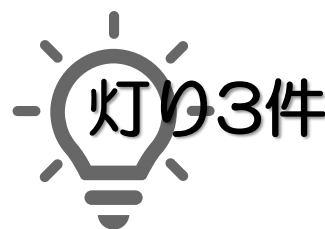
- ・車両の通行に関する苦情は特になかったが、交通規制を知らない方への説明等に時間を要した。
- ・昨年度からの改善で簡易横断防止柵を設置したため、効果が見られたのでは。
- 一方で、横断防止策が目立つためイベントの景観を阻害しているという意見もあった。

検証16：必要な電力・コンセントはどれほどか（不足する設備について出店者へアンケート）

希望する設備は？



電源3件



灯り3件

17店舗出店（うち15店舗から回答）

## 評価

検証16

灯り・コンセントのニーズが高かった。

- ・夜間で足元が見えにくく、“ヒヤリ・ハット”が発生していた可能性が考えられる。
- ・上記設備を導入することで、イベントのやりやすさが上がると考えられる。



# PEANUTS festival

令和7年11月3日（月・祝）



# 2-1. 社会実験の概要

## これまで得た 市民意見

- ・市民向けワークショップ
- ・駅前マルシェ
- ・えきまち研究会



## 駅西口で望まれる活動

- ・定期的に行われるイベントに参加する
- ・広場で安全に過ごせる
- ・送り迎え等で安全に送迎が出来る

## 社会実験の検証事項

～確認したいこと～

- テーマA：歩行者への影響
- テーマB：活動の創出
- テーマC：活動の仕組みづくり

## OR7年度社会実験

主催：荒尾市      調査支援：UR都市機構

## 〇日時

11/3（月・祝）  
社会実験      11:00～16:00  
PEANUTS祭      //

## 〇天気

晴れ、平均気温10℃

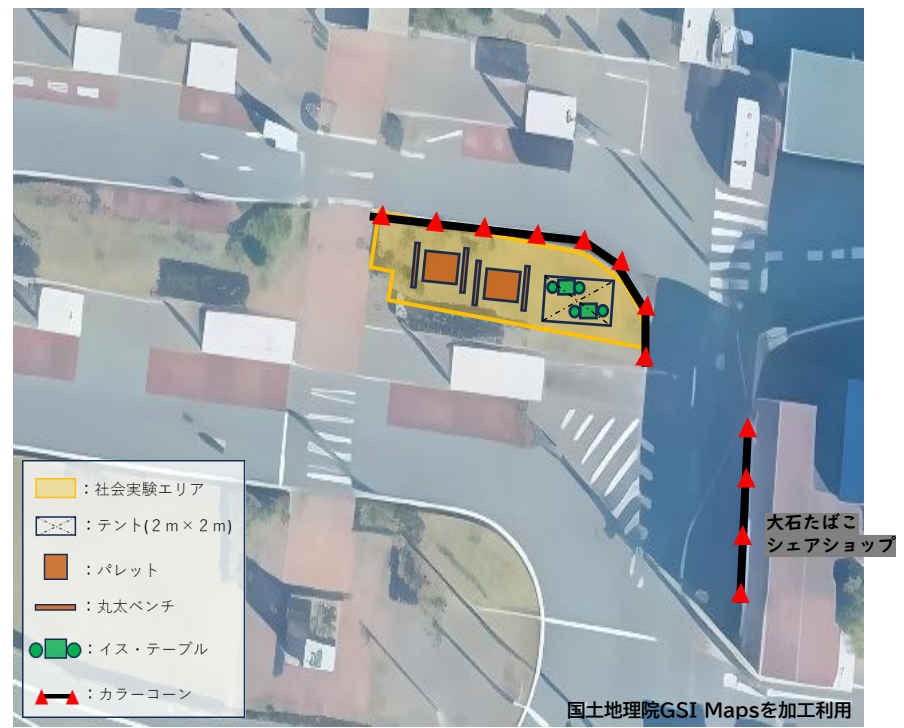
## 〇調査内容

アクティビティ調査、AIカメラ調査（アクティビティ調査、滞在時間の調査）

## 〇結果

滞在できるエリアを芝生広場に設けたところ、お店の前で人が集まることなく、車道を歩く人の減少が見られ、安全な通行が確保できた。一方で、天候や周辺イベントの影響も考えられ、芝生広場による効果について今後も引き続き検討する必要がある。

## 〇エリア



（参考）PEANUTS祭主催：PEANUTS



## 2-2. 目的及び検証事項

### 目的

駅周辺店舗でイベントがあった時の駅前芝生広場の利用の可能性や、安全かつ快適な滞在空間の設  
えについて検証したい。

確認したいこと	計測方法	具体的な手法	評価指標
テーマA:活動の創出(芝生広場の使われ方の可能性)			
検証1:芝生エリアは人が集まる空間となっていたか。	①定点観測	①AIカメラ	①芝生エリアの利用者数(人)
検証2:プレイスメイキングの場の要素を含んだ芝生広場の各エリアや大石たばこ前の出店エリアにおける滞在時間・活動の特徴(※)を把握する ※R7.10.25社会実験におけるアクティビティ調査と同項目を確認	①定点観測	①芝生エリア:GoProで滞在時間・活動を確認。 出店エリア:GoProで、活動を確認。AIカメラで滞在時間を確認。	①活動の種類・滞在時間や年代別の割合(%)
テーマB: 活動の仕組みづくり(事務局業務の検証)			
検証3:スケジュールに基づき円滑に事務局業務を行えたか	①振り返り会	①やったことリストを整理して、課題(やり残したことや時間を要したこと等)を洗い出す。	① 課題の抽出
テーマC:施設整備(滞在者・歩行者の安全性、場づくりの検証)			
検証4:滞在エリアと歩行エリアを分けることで、滞在者や歩行者が安全に駅前を利用できているか。	①定点観測	①AIカメラ	①車道を歩く人の数(件) 5月社会実験時からの変化数(〇件減)
検証5:芝生エリアと出店エリアを分けることで、歩道上に人が滞留する時間を短縮できるか。	①定点観測	①目視確認	①店舗前の歩道に人が滞留していなかったか

## 2-3. 結果・分析

### テーマA：活動の創出

検証1：芝生エリアは人が集まる空間となっていたか（芝生エリアの利用者数を把握）

検証2：プレイスメイキングの場の要素を含んだ芝生広場の滞在時間・活動の特徴を把握する



芝生エリアの滞在時間

30秒～1分	5人
1～3分	1人
3～5分	1人
5～10分	2人



### 評価

検証1  
検証2

丸太を使って遊ぶ子供やくつろぐ姿は確認できたが、利用者は少なかった

- ・当日は風が強く、外で飲食する環境として適していなかったか。
- ・同日には市内外で他のイベント開催が多かったため、イベント自体の来場者が少なかったと考えられる（主催者ヒアリングより）。

## 2-3. 結果・分析

### テーマB：活動の仕組みづくり

検証3：スケジュールに基づき円滑に事務局業務を行えたか

#### 評価

#### 検証3

過年度からの実績の積み重ねにより、短期間で計画・実行することができた。

- ・前回（5月社会実験）では約6週間かかった準備が、今回は約2週間で実施できた。
- ・利用エリアによっては不要な手続き（道路占用・使用許可申請）があることが分かった。

### テーマC：施設整備

検証4：滞在者・歩行者が安全に駅前を利用できているか（車道を歩く人数を調査）

検証5：歩道上に人が滞留する時間を短縮できるか（芝生エリアの滞在時間を把握）

前回実施時よりも

約4割減

※荒尾駅前歩道利活用社会実験（5/31）と比較

※11/3は18件、平常時（11/9（翌日曜日））は12件

芝生エリアの滞在時間（再掲）

30秒～1分 5人  
1～3分 1人  
3～5分 1人  
5～10分 2人

#### 評価

#### 検証4

#### 検証5

車道にはみ出す人が減ったため、安全面には一定の効果を得られた。  
通行に影響するほどの歩道上の人の滞留は見られなかった。

### 3.全体のまとめ ～今回わかったこと と 今後に向けて～

#### 活動の創出

##### 今回わかったこと

- ・夜間イベントでも多くの集客があった。
- ・JRの利用者数はイベントがなかった前週と比較して増加している。
- ・各エリアでの滞在時間に顕著な違いは見られなかった。

##### 今後に向けて

- ・今回来場が多かった20～30代のファミリー層に訴求したイベントを引き続き開催することで、ファンを獲得を狙う。

#### 活動の仕組みづくり

##### 今回わかったこと

- ・前回資料の書式を利用することで、スムーズに準備ができた。
- ・マルシェや駅前で出店してみたいという出店者からの声が前回よりも多かった。
- ・前回と比較して広報あらお・SNSを見て来場する人が増加した。

##### 今後に向けて

- ・マニュアルとして取纏めることで、さらに円滑に事務局業務を進めていく。
- ・駅前での活動に関わる仲間集めをする。

#### 施設整備

##### 今回わかったこと

- ・800人規模のイベントであれば、来場者用駐車場はプロローグ広場で、送迎用駐車場は6台で対応できた。
- ・簡易横断防止柵の設置で歩車道分離ができており、車道への飛び出し件数を減らせた。
- ・コンセント、灯り、イステーブル、人工芝、丸太、パレット等の設えにより、多様な活動が見られた。

##### 今後に向けて

- ・平常時とイベント時の両方に使える車両動線を引き続き検証。
- ・今後は、場の雰囲気や利用状況に合った配置・設え等を検証。

#### 荒尾駅前の将来像

市民による  
自発的な  
活動が起こる

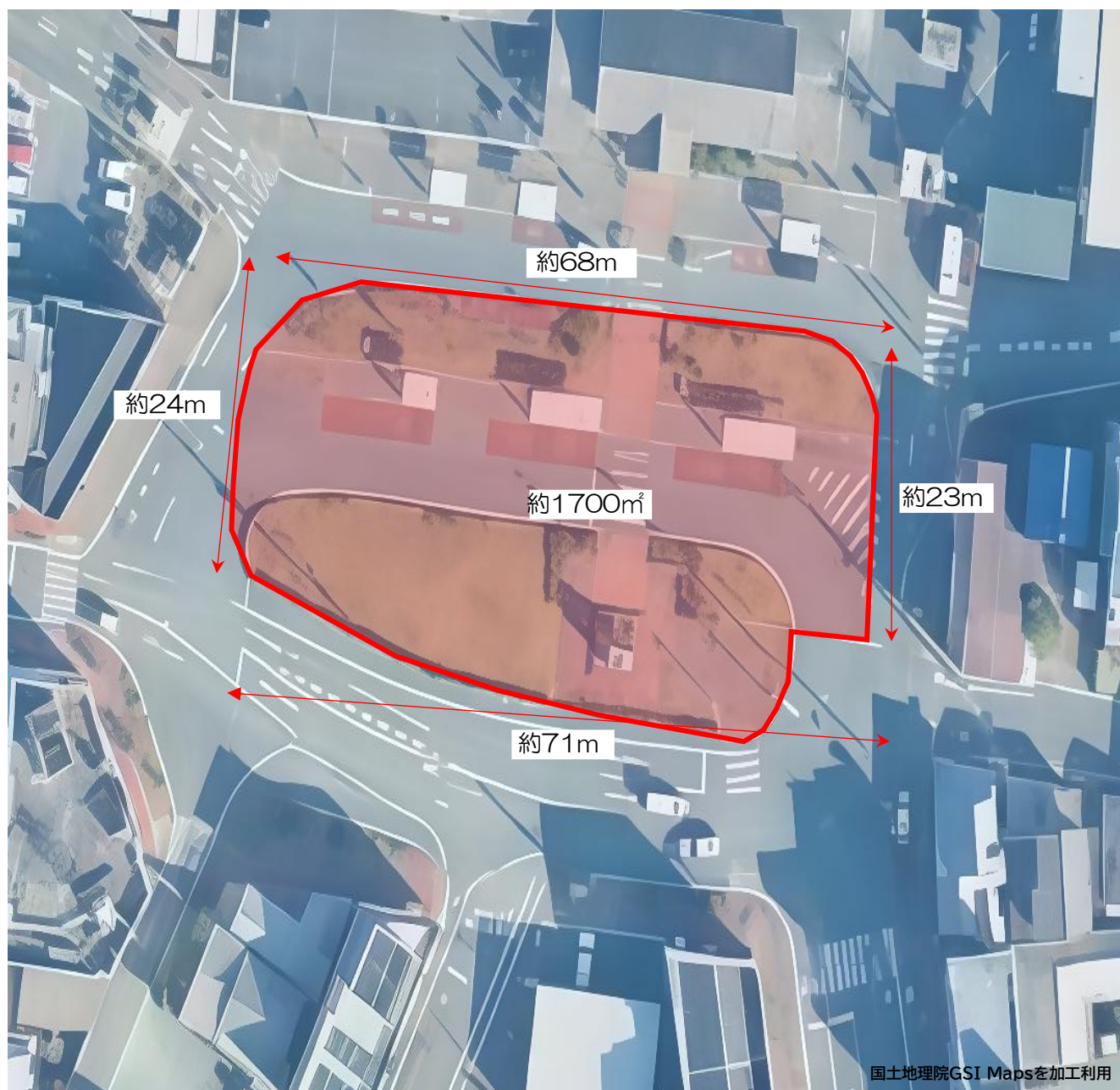
活動の創出  
及び活動自体  
が持続的  
となる

活動の実現  
に適した  
フィールド  
がある



## 4. 參考資料

## 4.参考\_ 社会実験実施工リア



# 4.参考\_ 調査の概要 (シール投票調査)※検証1、6

受付に設置の投票ボードにシールを貼る方法で調査を実施

● ～10代    ● 20～30代    ● 40～50代    ● 60代以上

Q1.今日はどんな目的で駅前にきましたか？

のあそびマルシェ

デジタル掛け軸

駅利用	その他 散歩	その他
-----	-----------	-----

Q2.このイベントをどうやって知りましたか？

イベントチラシ

広報あらお

市HP

SNS (インスタなど)

通りがかり

その他

Q3.お住まいと今日の交通手段を教えてください。

万田小校区
徒歩・自転車                      車

それ以外の荒尾市内
徒歩・自転車                      車                      公共交通

大牟田市
徒歩・自転車                      車                      公共交通

車                      その他                      公共交通
--

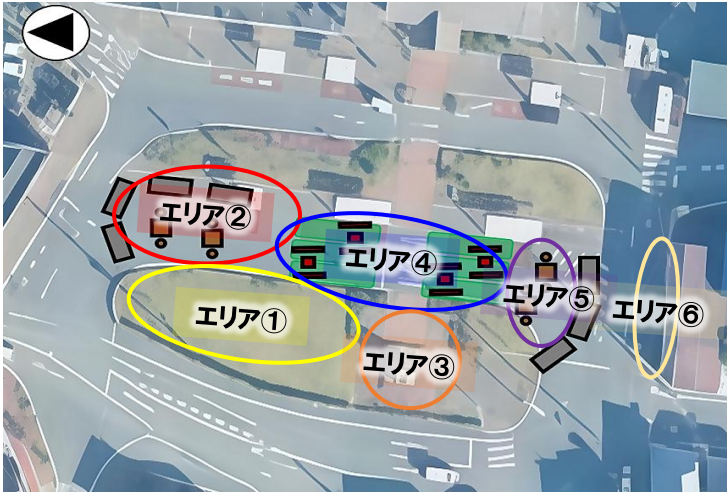
4.参考\_調査の概要（アクティビティ調査）※検証3、12

- アクティビティ調査
- ・1時間に1回、指定の6エリアのアクティビティ調査を実施。

- 一般車乗降状況調査
- ・JRの発車時刻に合わせて、プロログ広場内の「送迎用駐車場（6台分）」及び「降車エリア（民家前）」の駐停車台数を計測し、調査票に記入する。

活動項目	年代	人数
		正の字でカウント
飲食している	子ども・学生（～10代）	
	若者（20～30代）	
	中高年（40～50代）	
	シニア（60代以上）	
おしゃべりしている	子ども・学生（～10代）	
	若者（20～30代）	
	中高年（40～50代）	
	シニア（60代以上）	
遊んでいる	子ども・学生（～10代）	
	若者（20～30代）	
	中高年（40～50代）	
	シニア（60代以上）	
イベント風景を眺めている （子供が遊んでいるのを眺める、DKライトアップを眺める、景色を眺める等）	子ども・学生（～10代）	
	若者（20～30代）	
	中高年（40～50代）	
	シニア（60代以上）	
写真を撮っている	子ども・学生（～10代）	
	若者（20～30代）	
	中高年（40～50代）	
	シニア（60代以上）	

	JR上り （博多方面）	JR下り （熊本方面）	調査活動目安
14時台	14:04	14:03	13:53～14:03 駐車場 14:28～14:38 駐車場
	14:34		
	14:38		
15時台	15:06	15:03	14:56～15:06 駐車場
	15:32	15:58	15:22～15:32 駐車場 15:48～15:58 駐車場
16時台	16:09	16:16	16:06～16:16 駐車場
	16:44	16:55	16:20～16:35 アクティビティ調査 16:45～16:55 駐車場
17時台	17:09	17:28	16:59～17:09 駐車場
	17:32		17:15～17:30 アクティビティ調査
	17:53		17:43～17:53 駐車場
18時台	18:23	18:01	18:13～18:23 駐車場
	18:53	18:32	18:25～18:40 アクティビティ調査 18:43～18:53 駐車場
19時台	19:25	19:01	19:15～19:25 駐車場
	19:51	19:26	19:30～19:45 アクティビティ調査
		19:57	19:47～19:57 駐車場
20時台	20:12	20:30	20:02～20:12 駐車場 20:38～20:48 駐車場
	20:46	20:48	
	20:53		

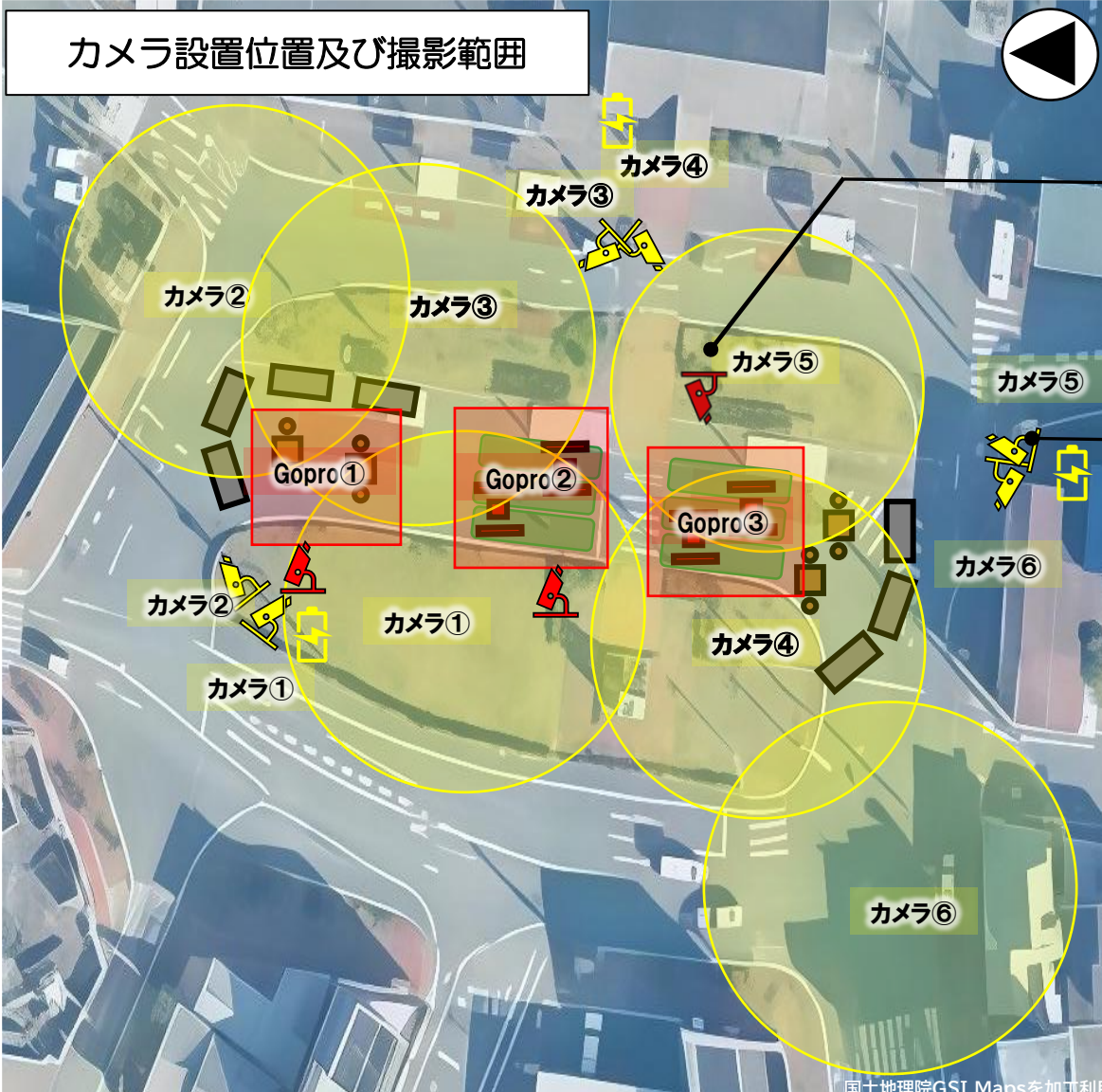


国土地理院GSI Mapsを加工利用



# 4.参考\_調査の概要（AIカメラ及びカメラによる定点観測） ※検証1、2、3、5、11、12

- AIカメラ及びカメラによる定点観測
- ・イベント日の前後2週間AIカメラによる人流、滞留時間の測定を行った。
  - ・イベント当日はカメラを設置し、活動の記録を行った。



凡例

- : キッチンカー（概算実寸ベース）
- : テント店舗（全長約5m）
- : 丸太、パレット
- : テーブル・椅子（パラソル4台）
- : 芝生ロール（2m×10m）

## 4.参考\_調査の概要（出店者アンケート調査） ※検証9、14、16

### 荒尾駅前広場活用社会実験 のあそびマルシェ出店者アンケート

今後のまちづくりの検討の参考とするため、率直なご意見・ご感想等をご回答願います。

提出確認のため出店者名を記載いただけますが、集計上、特定されることはありません。

**アンケートは当日にのあそびスタッフまでご提出、もしくは10/31(金)までに右QRからご回答をお願いします。**



1. 出店者名 \_\_\_\_\_

2. 来客組数、売上 ※可能な範囲で具体的な数値をご記入ください。

来客組数( )組 売上( )円

3. 出店の感想・課題

①来客数や売上に対する所感を教えてください。

例：思った以上の売り上げだった。

②安全面で気になった点がありましたか？（歩行者・車の通行で気になることなど）

☐なし

☐あり（ありの場合は下記に詳細をご記入ください）

詳細

③今回出店している中で、**あったら良い機能・設備**などありましたか？

☐なし

☐あり（ありの場合は下記に詳細をご記入ください）

例：屋根、風よけ、コンセント(100V、200V)、ゴミ箱、トイレなど

④今後、荒尾駅前にどのように関わりたいですか？

☐イベント時にまた出店したい（理由： \_\_\_\_\_）

☐イベントの主催をしたい（理由： \_\_\_\_\_）

☐イベントの運営・企画に関わりたい（理由： \_\_\_\_\_）

☐駅前（大石たばこシェアショップ等）で出店したい（理由： \_\_\_\_\_）

☐機会があっても出店したくない（理由： \_\_\_\_\_）

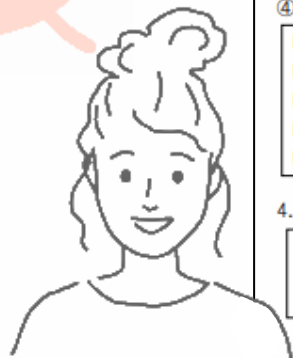
4. その他、今回の社会実験・のあそびマルシェに関するご意見・ご感想など（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

〇〇があって  
助かった！



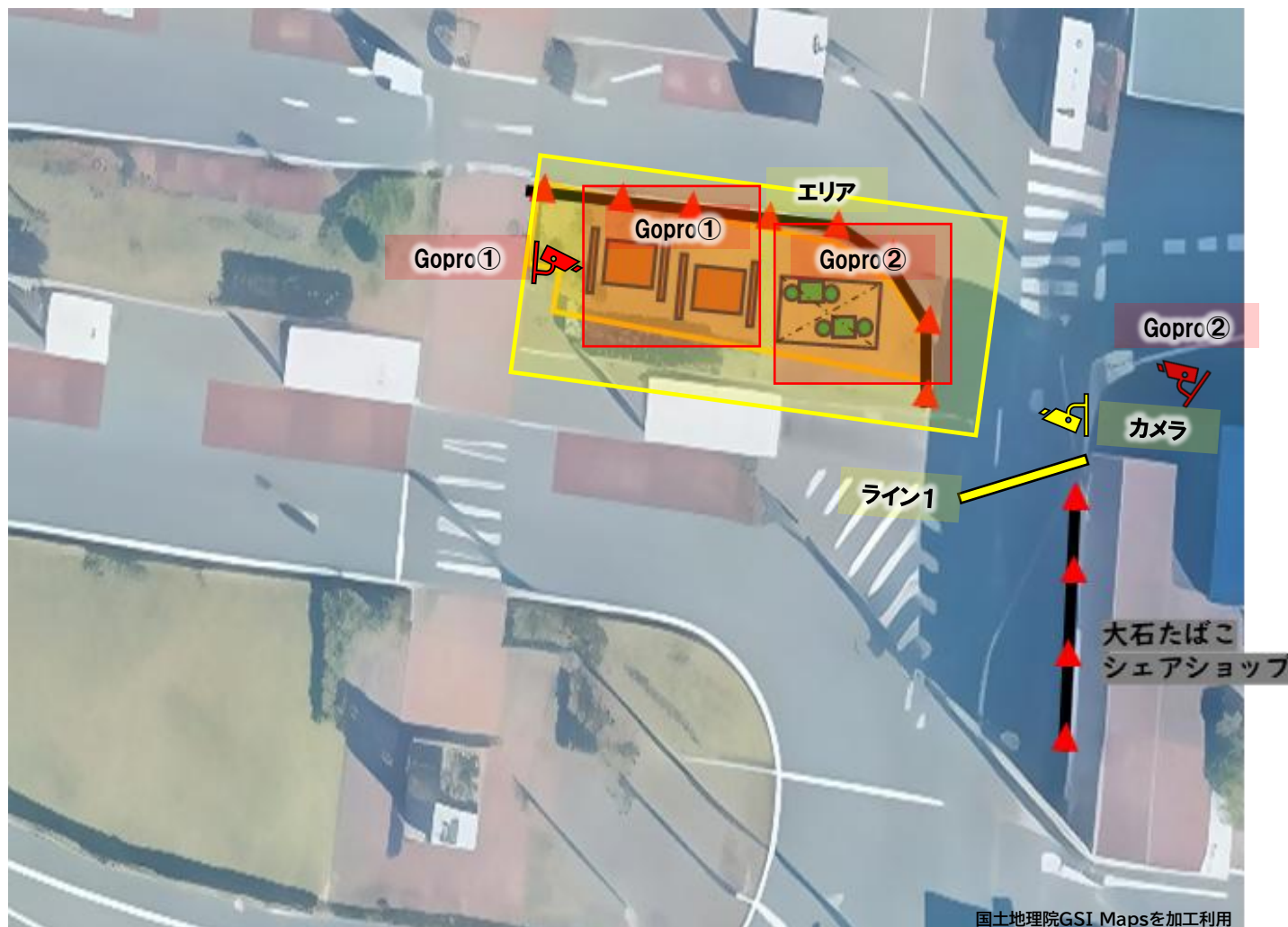
〇〇があれば  
出店しやすいな



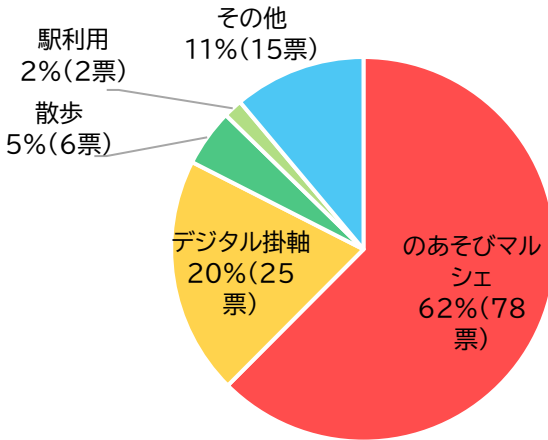
## 4.参考\_調査の概要（AIカメラ・GoProの設置）※検証1、3、5

○AIカメラ及びカメラによる定点観測

- ・AIカメラにて車道を歩く人の飛び出し件数を確認した。
- ・エリア内における滞在時間の測定を行った。
- ・定点カメラで活動を記録し、後日活動項目を確認した。

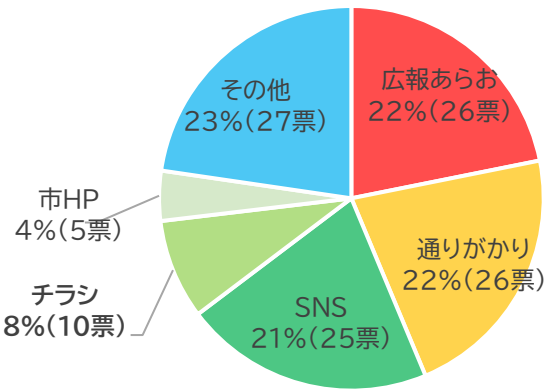


今日はどんな目的で駅前にきましたか？



計:126票

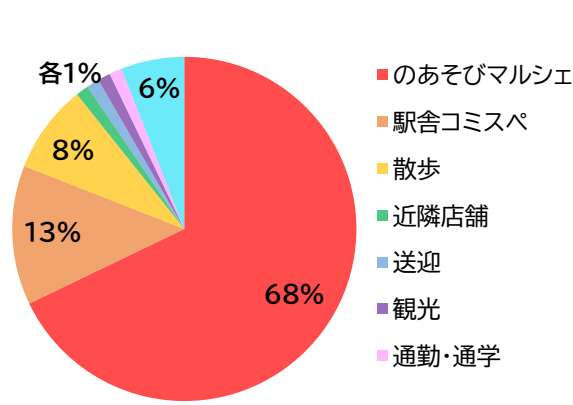
このイベントをどうやって知りましたか？



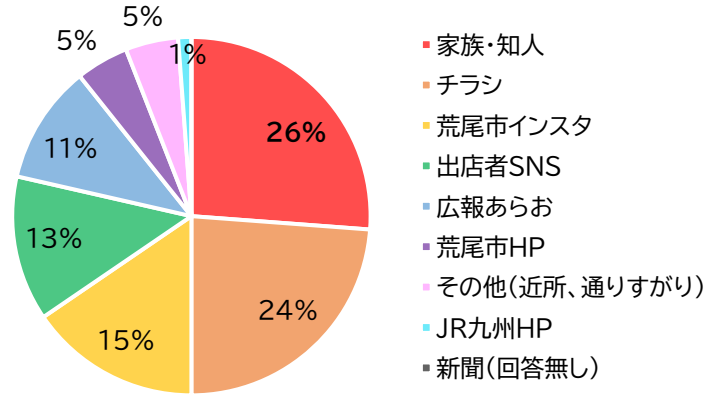
計:119票

参考 R6荒尾駅前社会実験結果

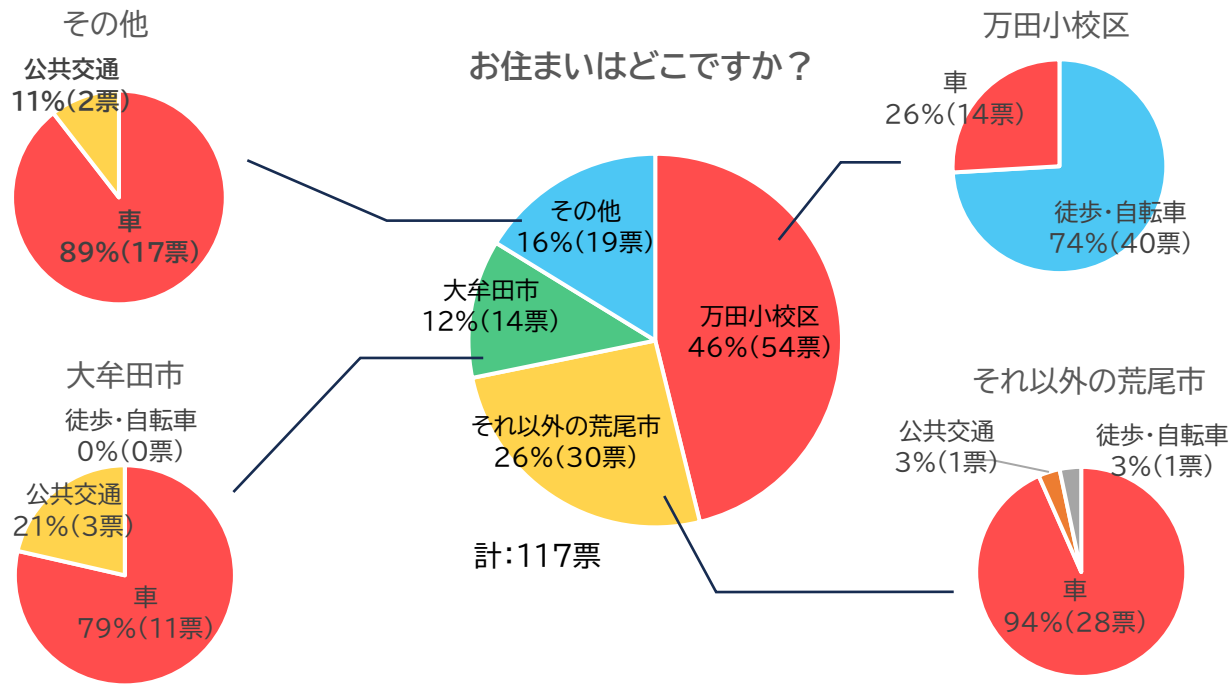
今日はどんな目的で駅前に来ましたか？



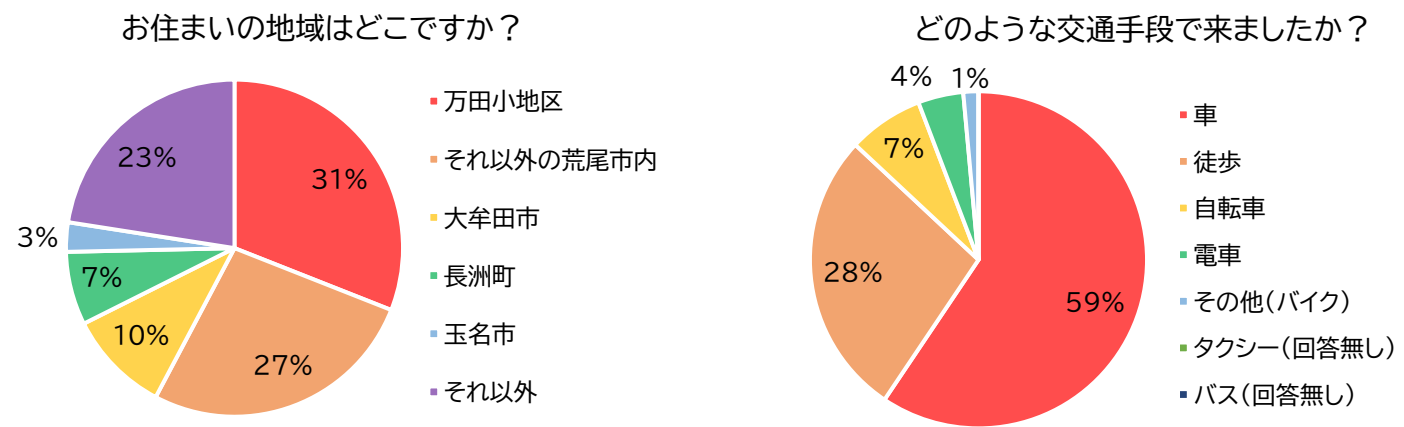
このイベントをどうやって知りましたか？





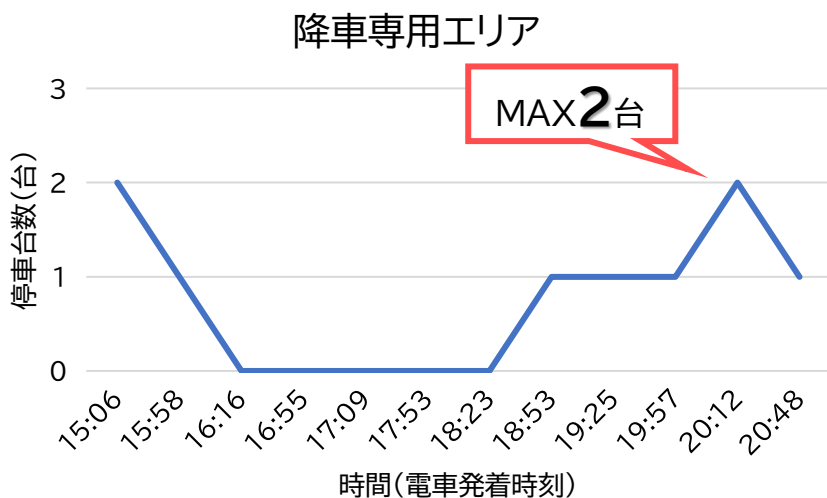
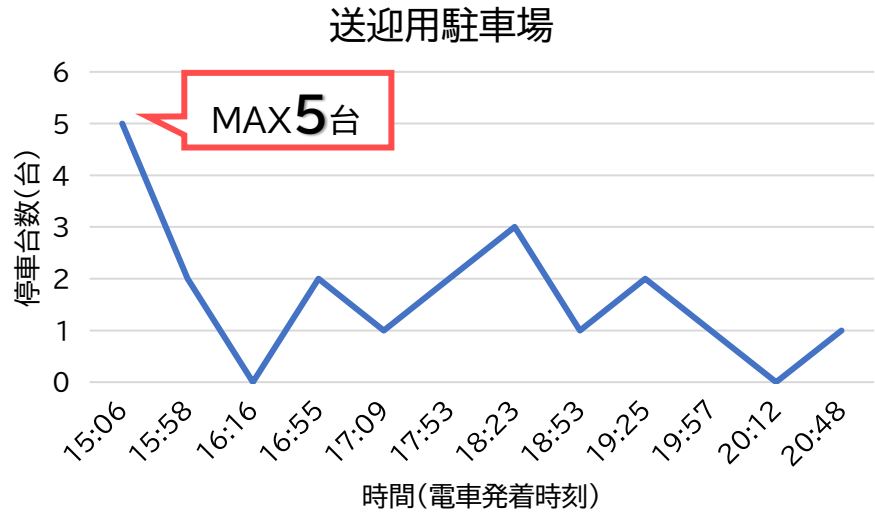


参考 R6荒尾駅前社会実験結果

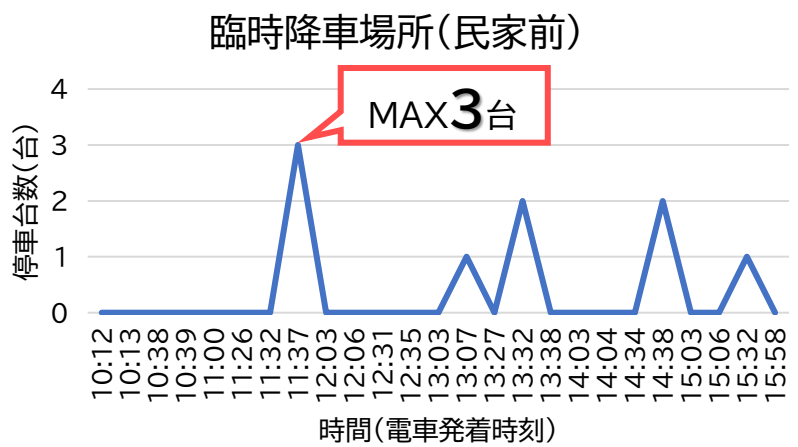
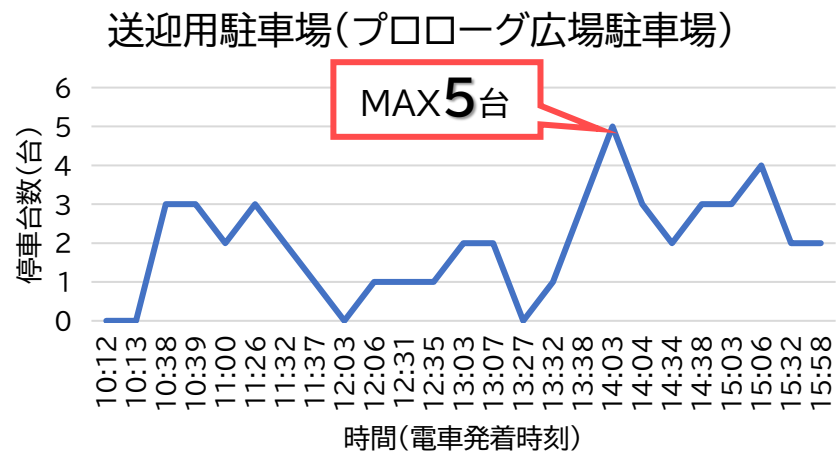


# 4. 参考\_調査結果（送迎用駐車場の利用状況）

10/25結果より

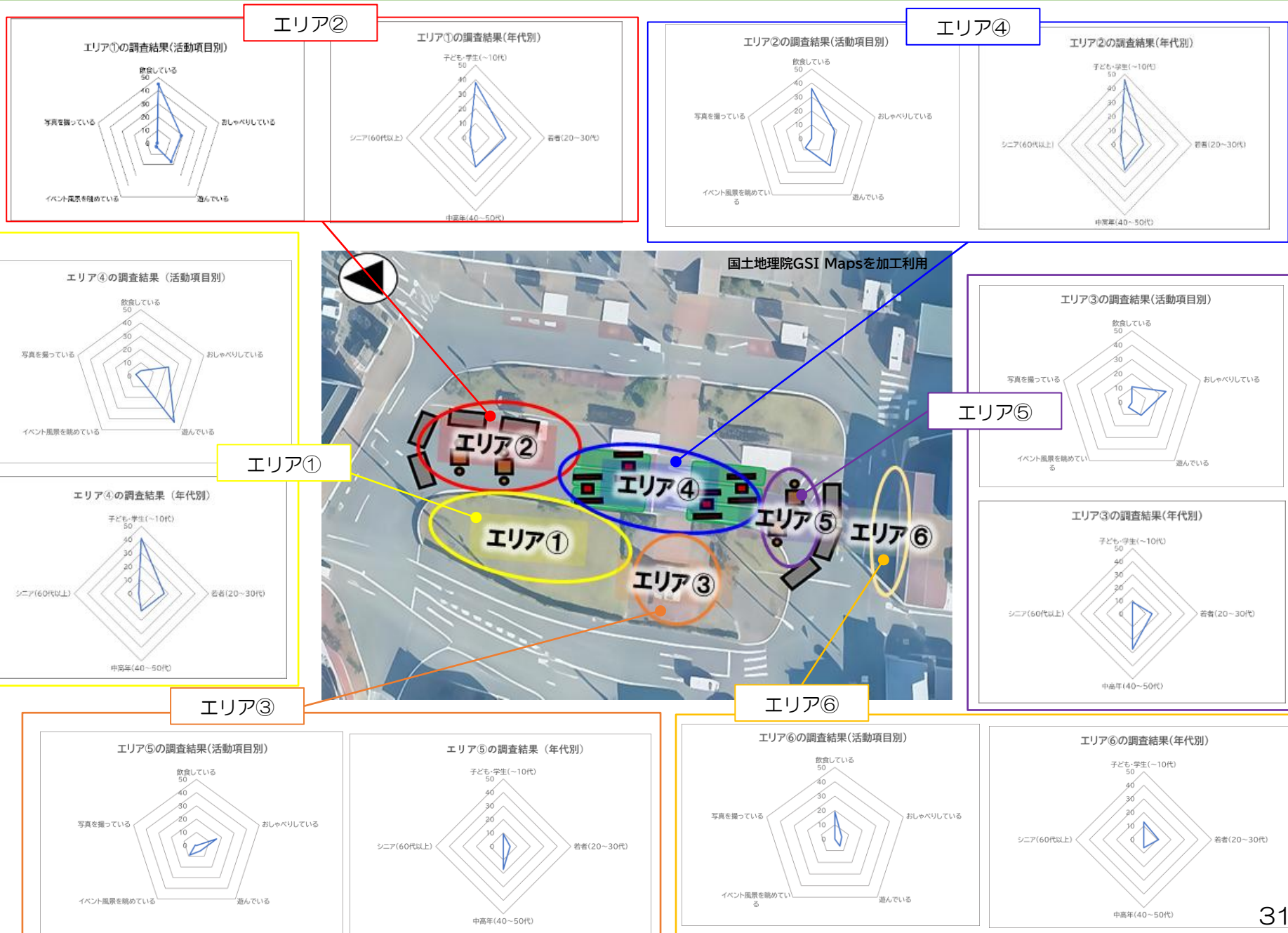


## 参考 R6荒尾駅前社会実験結果



## 4. 参考\_調査結果（アクティビティ調査）

※エリア③はDK投影・機材置き場所のため、人の滞在は見られなかった

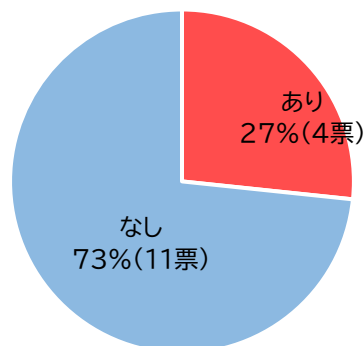


### 来客数や売り上げに対する所感

#### 【来客数や売上に対する所感】

- 思った以上の集客だった。
  - まったりとした感じで、お客さんとも話せて良かったです。
  - 思ったより多く、びっくりした。
  - 予想通りの売り上げでした。
  - 思ったより来てくれました。
  - 予想通りだった。
  - 予想より良い売上でした。
  - 思った以上の来客でした。
- 
- 低価格で食べやすい（ワンハンド）ものやお子さま向けのものが販売しやすいと感じました。
  - 後半忙しかったが前半が控えめだった。
  - 思たより少ないぐらいだった。
  - 来客数に対しての出店数が少し多いと感じました。
  - 正直に！あともう少しプラス20個程の用意をしていました。
  - もう少し忙しくなるかなと思っていました。

### 安全面で気になった点

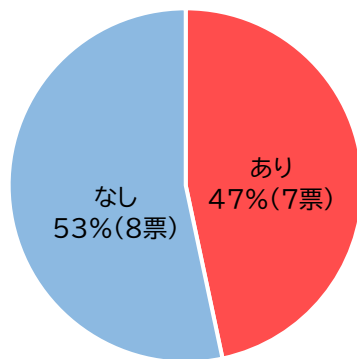


#### 【課題ありと回答した理由】

- 足元が暗いので躓いたりされるお客様がいた。もう少し明るいといいかも。段差が危ない。
- 歩道近くの子どもたちが少し危なかったです。
- テント（三角テント）の横の電球に足を絡めるお子様がいらっしゃいました。大事な状況ではありませんでしたが、少し気になりました。



あったら良い機能・設えなど



【あったら良い機能・設えの意見】

- ・灯り（3件）
- ・電源（3件）
- ・テーブル
- ・BGM
- ・トイレ
- ・ごみ箱
- ・三方幕

【出店したいと回答した理由】

- ・出店時でのご縁をたくさん感じてるので、機会あればまた宜しくお願い致します。
- ・荒尾を盛り上げたいです。
- ・地元なので。
- ・なかなか出店する機会がないので。
- ・全体的な雰囲気も良く、出店者の方もお客様もなごやかな感じでした。是非また!!と思いました。
- ・お客様も多く、楽しい催し物だった。
- ・団体の周知ができるため。
- ・荒尾駅が盛り上がるのはとても嬉しいです。
- ・多くの知り合いの方もきてくださり、出店者同士のつながりもできた。
- ・荒尾駅前に関わらず、荒尾エリアでイベント等がある際は出店したい（店舗の告知ができたことがとても良かったです）。

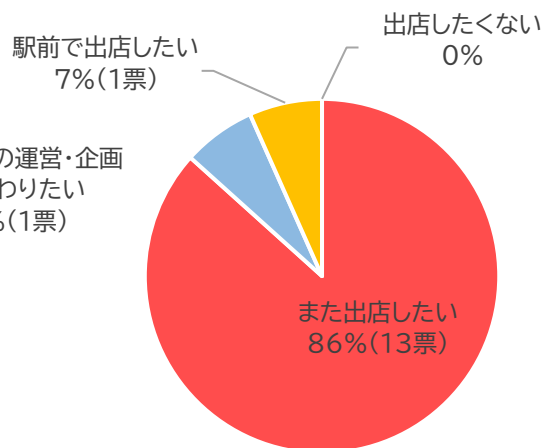
【駅前で出店したいと回答した理由】

- ・クラフトビールショップとして出店したら面白いかもと思いました。

【イベントを運営・企画したいと回答した理由】

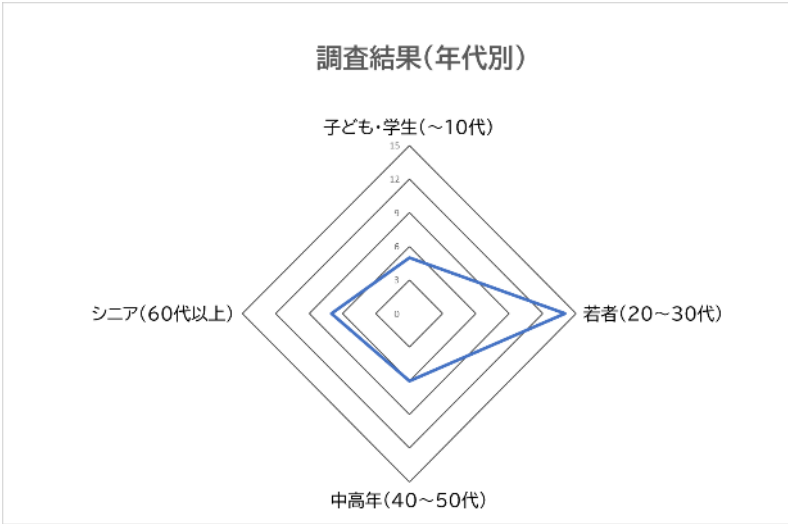
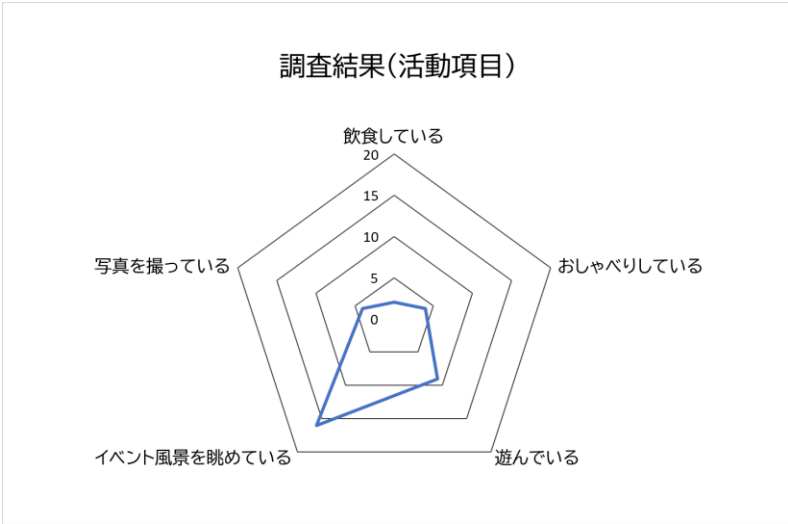
- ・学生を巻き込んだ動きにしても良さそうと思ったため。

駅前での関わり方



### 【自由記述】

- ・今回もお世話になりました！
  - ・これからの町づくりが楽しみです！ありがとうございました!!
  - ・いつも子どもと一緒に楽しませて頂き、ありがとうございます。これからはいろいろな企画を楽しみにしております。
  - ・イベント時だけでも空き店舗などを提供させてもらって、駅も含め周辺エリアも使った内容も他には無い感じで楽しそう。
  - ・出店者さん、主催者さん、お客様の思い・想いは繋がるとしています。このような雰囲気の良い（スタッフの方の挨拶等些細な事が雰囲気を作るとしています）イベントはぜひ継続いただきたいと思っています。
  - ・主催者の行き届いた配慮に感謝しています。
  - ・イベント、大変楽しませていただきました。ありがとうございました。関係各位の皆様、準備から片付けまでお疲れ様でございました。
  - ・ご連絡等がギリギリとなりご迷惑おかけしました。また、何かありましたらよろしくお願いいたします。
- 駅の目の前なので他の駅でも同じ様なイベントを同時開催して、周回イベント(謎解き等)が有ると面白いと思う。
- ・社会実験の結果をぜひ知りたいです！



# 4.参考\_ R6荒尾駅前社会実験の概要

## OR6荒尾駅前社会実験

主催：荒尾市      調査支援：UR都市機構

(参考) コミュニティスペース主催：荒尾市、のあそびlabo、JR九州  
のあそびマルシェ主催：のあそびlabo

## 〇目的

えきまち研究会での活動イメージをもとに駅前広場のロータリーの一部を通行止めにして歩行者天国化し、駅前広場での過ごし方や活動、交通への影響などを検証。

## 〇調査内容

アンケート調査、投票調査、アクティビティ調査、車両状況調査

## 〇開催概要

日時：11/23（土・祝） 9:00～16:00【交通規制時間】  
同日      11:00～15:00【マルシェ開催時間】

天気：晴れ、平均気温17℃

来場者数：約500人

マルシェ出店者：10店舗

仮設一般送迎車待機所：8台設置（最大5台駐車）

仮設臨時降車場所：最大3台停車

## 〇エリア

